

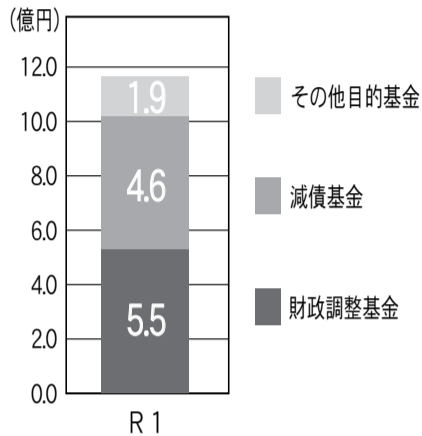
# 富里市の未来への取り組み

広報とみさと令和2年4月号で、令和2年度の当初予算と財政状況の取り組みについてお知らせをしました。  
今回は、富里市の貯金と借金について考えてみます。

問い合わせ先 ● 財政課 ☎ (93) 1115 ● 企画課 ☎ (93) 1118

## 現在の状況

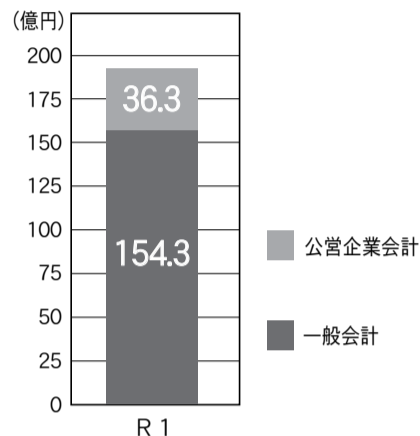
### 市の貯金（基金）



市の貯金（基金）は、令和元年度末で総額約11億9,821万円です。市民一人あたりに換算すると、23,886円となります。なお、財政調整基金（5億5,212万円）は、市民一人あたり11,006円となります。現在、収入の伸びが追いついていないため、貯金を取り崩すことで、増加する市民ニーズに対応しています。

※財政調整基金とは、経済不況や災害の発生などに備えるための、貯金のことをいいます。

### 市の借金（市債）



保健センターなどの建物や道路などの工事に借りた市の借金（市債）は、令和元年度末で総額190億6,495万円です。市民一人あたりに換算すると、380,060円となります。なお、一般会計の借金（154億2,501万円）では、市民一人あたり307,497円となります。現在、借金を増やさないように計画的な借り入れを行っています。

※一般会計とは、市民の皆さまの福祉・教育・土木・衛生などを行う会計のことをいいます。

※公営企業会計には上水道事業と下水道事業があり、経済活動の発生に基づき経理を行う会計のことをいいます。

貯金しては取り崩す行政運営

借金に依存した行政運営

## 富里市を取り巻くさまざまな課題

#### 少子高齢化の進行による

- 市税収入の減収
- 医療や介護などの社会保障経費の増加

#### 施設の老朽化による

- 道路、上下水道などの維持・更新費用の増大

#### 近年の施設整備等による

- 市債（借金）の増加

今、富里市は変わるときです！

行政は、これまでの行政運営から行政経営へ改革します。

行政経営は、市民起点（市民側から物事を考える）に基づき、「成果」に重点を置くとともに、「守り」から「攻め」の姿勢へ転換します。

### 例えば、このような取り組みを実行します

- 職員一人ひとりの「挑戦する組織風土」を築きます。
- 官民連携による電力事業や、公共施設への愛称をつける権利など、新たな収入を図ります。
- 市の行っている事業の「選択と集中」を図ります。
- 市所有の土地や施設など、民間企業の利用による有効活用を行います。
- 市街化区域の用途地域見直しや、市街化調整区域の規制緩和により、企業を誘致します。

未来へつむぐ、富里市の新たな時代に挑戦します